

# まさゆき新聞

M A S A Y U K I S H I N B U N

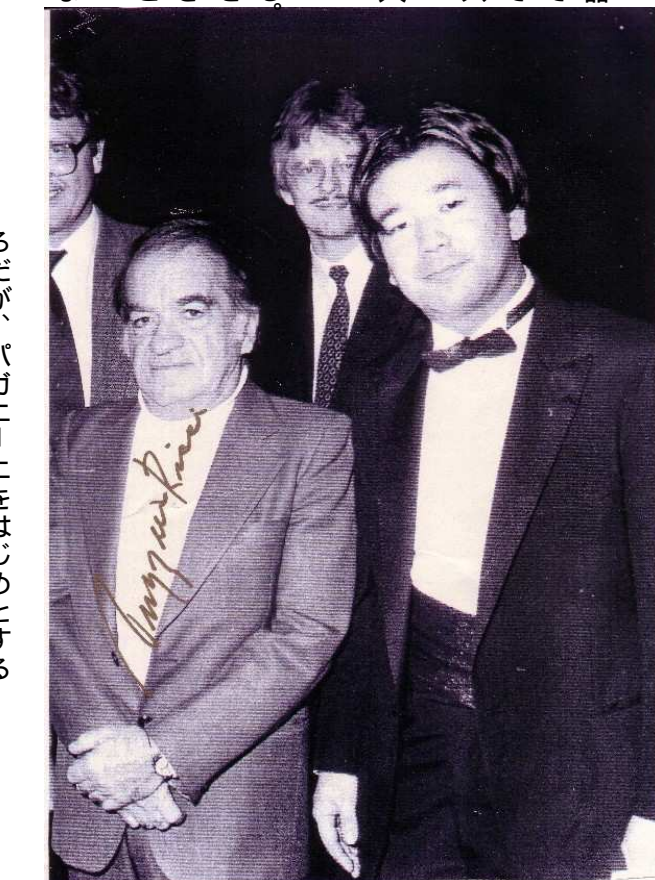
編集・発行：まさゆき倶楽部事務局

まさゆき倶楽部事務局 東興華空間 目黒区柿の木坂3-3-1 TEL03-3414-7562 FAX03-3410-5130

私と先生との出会いは一九八二年、ロンドンに留学した頃の頃、ちょうどパガニーニの生誕二百周年記念、奇想曲全曲演奏会の時であった。その時先生は、パガニーニ全曲のみならず、バツ八全曲も同時に行い、何と二晩でそれらを演奏してみせた。驚異のスタミナとその集中力に驚かされてしまった。

ろだが、パガニーニをはじめとする数々のヴィルトゥオーソピースを中心に世界一幅広いレパートリーを持つ、私の尊敬する恩師、ルツジェーロ・リツチ先生は、演奏家の中でも、楽器に詳しいことでは有名である。彼は常にヴァイオリンに興味を持ち、その一つ一つに造詣が深く、それは私にとって

今、私の手許にある一台のヴァイオリン、一七七六年イタリア、クレモナ製のロレンツォ・ストロリーニである。一人の演奏家が名器を持つという事は、その時代の人にとってその音を聞けるチャンスはその人でしかない。その責任は限りなく大きい。



ツチマスターコンクールでは、そうした彼との勉強の成果が、存分に発揮できた。その時にベルリンにてデビューをするコンサートの契約も成立し、思い出深い第一歩であった。

そして何よりもそのヴァイオリニステイックな音の魅力にとりつかれてしまった私は、その後、楽屋の先生を訪ねた。そしてその事が、私のヴァイオリン人生の大きな源となったのだ。ヴァイオリニストならば、誰もが知るところ

も、大変勉強になったし大切な教えにもなった。彼はストラディヴァリウスよりもガルネリの男性的で力強い音色を好み愛用していた事で有名であるが、そんな彼がもう一台、所有していたのが前述のストロリーニである。若千五

でも、際立った美しさを持つこの楽器は先生が三〇年近く使っていた。音色は、やはりガルネリに似ていて、低音から高音までとても豊かな味わいのあるバリトンの様な響きを持っている。そんな特徴の楽器で先生は数多くの録音を行ってきたが、中でもバツハの無伴奏はその魅力を存分に伝えてくれる一枚として、私にとっても愛聴盤となっている。

## 恩師との出会いと愛器ストロリーニ

ソロ	日時	公演名	場所	共演者	曲目
	4/10(土)20:00~	リサイタル	大阪 文	吉山 輝(ピアノ)	ロッシーニ フィガロ他
	4/15(木)19:00~	日フィル第559回定期	東京 サントリーホール	沼尻 龍典(指揮)他	モーツァルト ハフナー他
	4/16(金)19:00~				
	4/22(木)	題名のない音楽会 公開収録	東京 昭和女子大人見記念講堂		
	4/24(土)18:00~	日フィル第196回横浜定期	神奈川 横浜みなとみらい	緑川 まり(ソプラノ)他	ワーグナー ワルキューレ他
	4/25(日)14:30~	日フィル第141回サンデーコンサート	東京 芸術劇場		
	5/5(水)11:00~	日フィル子供の日コンサート	東京 サントリーホール	高関 健(指揮)他	ビゼー アルルの女他
	5/5(水)14:00~				
	5/7(金)18:30~	日フィル杉並コンサート	東京 なかのZERO	田部 京子(ピアノ)他	ベートーヴェン 田園他
☆	5/9(日)14:00~	日フィル第142回サンデーコンサート	東京 芸術劇場	小林 研一郎(指揮)他	リムスキーコルサコフ スペイン奇想曲他
	5/13(木)19:00~	日フィル仙台公演	宮城 イズミティ21		
	5/14(金)18:30~	日フィル盛岡公演	岩手 盛岡市民ホール	神尾 真由子(ヴァイオリン)他	スメタナ モルダウ他
	5/16(日)14:00~	日フィル第292回名曲コンサート	東京 サントリーホール		
	5/21(金)19:00~	日フィル第23回定期	埼玉 大宮ソニックホール	清水 和音(ピアノ)他	ストラヴィンスキー ペトルーシカ他
	5/22(土)18:00~	日フィル第197回横浜定期	神奈川 横浜みなとみらい	フレデリック・ギイ(ピアノ)他	シューベルト グレート他
	5/27(木)19:00~	日フィル第560回定期	東京 サントリーホール	本名 徹次(指揮)他	伊福部 釈迦他
	5/31(月)19:00~	日フィル伊福部孕寿記念コンサート	東京 サントリーホール	和波 考禧(ヴァイオリン)他	原 シャコンヌ他
	6/7(月)19:00~	原博メモリアルコンサート	東京 なかのZERO	吉山 輝(ピアノ)他	ブラームス トリオ第1番他
	6/12(土)14:00~		兵庫 塚本アートスクウェア	長明 康郎(チェロ)他	ブラームス トリオ第2番他
	6/13(日)14:00~	なにわトリオ	大阪 阿倍野区民ホール	吉山 輝(ピアノ)他	ブラームス トリオ第1番他
	6/14(月)14:00~		大阪 千里中央A&Hホール	北住 淳(ピアノ)他	ピアソラ ル・グラン タンゴ他
☆	6/19(土)18:30~	リサイタル	兵庫 リパティかこがわ	水月 恵美子(ピアノ)	ウヰヴァルディ 四季
	6/20(日)	リサイタル	東京 世田谷プラネタリウム	ネーム・ヤルヴィ(指揮)他	ブラームス 交響曲第4番他
	6/24(木)19:00~	日フィル第561回定期	東京 サントリーホール	門田 美由紀(ピアノ)他	ドヴォルザーク ドゥムキー他
	6/25(金)19:00~				
	7/3(土)14:00~	MEC室内楽コンサート	東京 王子ホール	佐份利 恭子(ヴァイオリン)他	ヴィヴァルディ 四季他
☆	7/7(水)19:00~	ラスカセタコンサート	神奈川 平塚市美術館ロビー	山下 泰資(チェロ)他	ピアソラ リベルタンゴ他
	7/8(木)	ルガーノ・カルテット	茨城 筑波パホール	水月 恵美子(チェンバロ)他	ヴィヴァルディ 四季他
☆	7/10(土)15:00~	日フィルコンサート	東京 セシオン杉並	山下 泰資(チェロ)他	ピアソラ リベルタンゴ他
	7/11(日)	ルガーノ・カルテット	兵庫 西宮教会		第九他
	7/16(金)13:40~	しあわせを呼ぶコンサート	川崎 宮前市民館		
	7/17(土)		大阪 岸和田なみきりホール	山下 泰資(チェロ)他	ピアソラ リベルタンゴ他
	7/18(日)	ルガーノ・カルテット	東京 桐朋ホールロニアホール		
	7/27(火)		長野		
	7/28(水)	白馬ミュージックセミナー	長野		
	7/29(木)		長野		
☆	7/30(金)	白馬ミュージックセミナー(無伴奏コンサート)	長野 聖白馬教会		
☆	7/31(土)19:00~	白馬ミュージックセミナー(リサイタル)	長野 白馬アウゼホール	名越 小百合(ピアノ)	コレルリ ラ・フォリア他
	8/1(日)	白馬ミュージックセミナー	長野		
	8/2(月)		長野		
	8/3(火)	白馬ミュージックセミナー(室内楽コンサート)	長野 白馬アウゼホール		
	8/6(金)				
	8/7(土)	清里セミナー	山梨		
	8/8(日)				
	8/9(月)				
	8/11(水)	リサイタル	イタリア ローマ マルチェロ劇場	カルメン・アルヴァレス(ピアノ)	レスピーギ ヴァイオリンソナタ他
	8/12(木)	リサイタル	イタリア ローマ ヴィッラ トルローニア		
☆	8/24(火)	日フィルハワイ公演	ホノルル	小林 研一郎(指揮)他	武満 遠い呼声の彼方に他
☆	8/25(水)				
☆	9/4(土)	リサイタル	佐賀 肥前鹿島	倉澤 華(ピアノ)	メシアン 主題と変奏他
	9/5(日)	第九コンサート	東京 芸術劇場	上杉 裕之(指揮)他	ベートーヴェン 第九他
☆	9/9(木)19:00~	日フィル第563回定期	東京 サントリーホール	アントニ・ヴィット(指揮)	ヴィニャフスキ 協奏曲第1番
	9/10(金)19:00~				
	9/11(土)	トリオ ミンストレル 全国ツアー	東京 安養寺	小川 剛一郎(チェロ)他	チャイコフスキー 偉大な芸術家の思い出他
	9/12(日)		東京 紀尾井ホール		
	9/16(木)		北海道 苫小牧市民ホール		
	9/17(金)	日フィル 北海道ツアー	北海道 函館市民ホール	広上 淳一(指揮)他	ベートーヴェン 運命他
	9/18(土)		北海道 札幌キタラ		
	9/19(日)				
	9/24(金)		福岡 福銀ホール		
	9/25(土)	トリオ ミンストレル 全国ツアー	福岡 柳川お花	小川 剛一郎(チェロ)他	チャイコフスキー 偉大な芸術家の思い出他
	9/26(日)		福岡 春日		

「バガニーニ25の奇想曲」木野雅之  
Nicolò Paganini 25capricci/Masayuki Kino



国内盤 CD

発売：サウンド&ミュージッククリエーション  
品番：SMC-1001  
価格：¥2,857 (税抜)

バガニーニは一部の人が弾けないような、難度の高い曲をつくっているんです。もともとこの奇想曲は『バガニーニの24の奇想曲』として知られていますが、遺作の1曲が近年になって発見されました。その遺作を含めたバガニーニの奇想曲を、木野雅之さんが演奏したのが本作です。このバガニーニをロックに例えるならば、ギターの神様、ジミ・ヘンドリクスでしょうか。とにかく超絶技巧で押しまくり、それをひとつのスタイルにしたわけです。彼はそのスタイルを持って1831年にパリやロンドンに乗り込み、未曾有のセンセーションを起こします。ジミ・ヘンドリクスも彼と同様、ロンドンで火がついたんですね。ロンドンという場所は、ユニークな演奏家を歓迎する土地なのかもしれません。本作でバガニーニの曲を演奏している木野雅之さんも、当店のイベントでお会いすることができました。クラシックの演奏は非常に神経質などころがあるにもかかわらず、とてもゆったりとした温和な方でしたね。それが僕には魅力的に映りましたね。

http://www.holiday.yamaha.co.jp/topics/cd/017/

ヤマハのホームページおとなのこだわりCDより

### バッハの「無伴奏」全曲をSACDハイブリッドでリリース 木野雅之(VN)&江崎友淑(オクタヴィア・レコード) サラウンドのリファレンスたるソ フトの誕生

聞き手 斎藤宏嗣

「オクタヴィア・レコード」では新しい形態のディスクであるSACDハイブリッド盤に大変積極的に取り組まれているわけですが、今回木野雅之さんのヴァイオリンでバッハの「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」を発売されるということですね。今日は演奏者の木野雅之さんとエンジニア、プロデューサーでもあるオクタヴィア・レコードの社長でもある江崎友淑さんにも来ていただいているので、このディスクについて色々かかってみました。お二人は古くからの友人ということですが、いつ頃からのおつきあいですか？  
江崎 高校の同級生なんです。その頃から木野君の技術は際立っていたので、みんな「木野君は技巧派」と言っていました。僕は彼の魅力はむしろその音色であると思

ってましたし、今でも思っています。このバッハの「無伴奏」ですが、彼も40代という演奏家として脂の乗った時期です。この時期に彼をいったん裸にして、僕自身としても彼の音楽を解剖してみました。そういう思いがありました。

「無伴奏」は僕もテロだとケリガス、ヴァイオリンだと全曲ではありませんが、鳴りや響きで極本君、変わったところではフルートのジャック・スーシカホルンのパボラクといった人たちの演奏を録音してありますが、いずれにしても作半可な取り組みでは崩せないですね。ささういう音楽を木野君も弾いてもらって、彼の本当の意味での魅力や個性に知らしめたい、というのが今回の録音のねらいだったわけです。

パルティータとソナタを二気に全部録音する、ということは大きな冒険だったと思

いますが、それもまたクリアできたいと思います。しかも木野君が一人の音楽家として、大きな目標に体当たりでぶつかって作品になりました。

バッハの「無伴奏」という作品は、楽器やホールとの関わりもシビアな作品です。今回はマルチチャンネルも入ったSACDでリリースして、多角的な捉え方のできる作品に仕上げたいです。

木野 ヴァイオリンistにとってはバッハの「無伴奏」はバガニーニと並非常に重要な作品ですから、決して妥せず完成度の高いものを作ろうというコーディングに臨みました。体力も非要求されるのですが、とにかく自分の体験、経験の集大成になりました。江

## 木野雅之

ヴァイオリン Masayuki Kino  
ヴァイオリニストが作曲した作品がライフワーク



リサイタルは11月18日19時、王子ホールにてサウンド&ミュージッククリエーション ☎ 044-788-1727

### 音楽の友2003年11月号より

取材・文=真嶋雄大  
写真=竹原伸治



人々を驚かせていた当時を考えると、スピリット

パガニーニに対して独自のアプローチを見せる木野雅之が、また新しい魅力を描き出す。ヴァイオリニストにとってバイフルとも目される作品、パガニーニの《24の奇想曲》に続く25番目の別れの奇想曲、日本初演だ。

「1931年頃の作品で遺作、1970年頃発見されました。技巧的ですがタイトルが『別れ』にしては明るいイ長調の短い曲です」

11月のリサイタルにはこの曲を含めた「25の奇想曲」が演奏される。また同曲のCDリリース、木野自らが改訂した《24の奇想曲》、別れの奇想曲の出版も同時に行われる。

「今回特に気を使ったのは、バガニーニが演奏していた当時のスタイルになるべく忠実に再現するということです。今日あるほとんどのエディションはどれも弾きやすく改訂されています。それはパガニーニが技巧を持って人々を驚かせていた当時を考えると、スピリット

トを失いかけています。それを見直してみようかと。一晩に全曲弾くのは初めてですが」

このため木野は、バガニーニが14番でそうしたように、G線を親指で抑えるテクニックを使用したり、10年程前からは、ヴァイオリンの駒をほぼフラットに削ってしまっている。こうすると重音がきちんと弾ける反面、単音が非常に演奏しづらくなるが、それを正確な弓のコントロールで補う。バッハやパガニーニを演奏活動の柱としている演奏家にとって非常に大切な力を込めた。

日本フィルのコンサートマスターとして、ルガーノ、トリオ・ミンストレル、なにわトリオ等数々の室内楽のメンバーとして、またソロに協奏曲にと引手あまたではあるが、ヴァイオリニストが作曲した作品がライフワーク」という木野にとって、バガニーニは最重要。あの有名な24番をテーマにした変奏曲を集めての演奏会とか、6曲の協奏曲を全曲弾くとか抱負は膨らむばかり。別れの奇想曲の演奏順はと訊ねると「タイトル通り、これを聴きながら帰ってもらいます」(笑)

### ●木野雅之の音楽の友2003年11月号 Concert 無伴奏ヴァイオリンによるリサイタル

タルであり、パガニーニの「24のカプリース」と、パガニーニ50歳のころに作曲された「別れのカプリース」の無伴奏版が演奏された。つまりこの日、木野はパガニーニが残したカプリース25曲を一夜で演奏したのであった。パガニーニのカプリースは、周知の通り超難曲が揃っている。木野は、この難曲を、技術的に完成度高く弾くことも目指しつつ、パガニーニという人の中にある「音楽」を奏出しようという理想をもって、この日、奏していたようであった。難所も安全運轉的な表現では、木野自身身がまんができないようであり、猛然と突っ込んでいく。そしてそこから強烈なスリルや衝撃を生み、手に汗にぎりつつ聴き入る場面を少なからず創り出していった。こつこつ演奏を聴くと、リスト、シヨパン、シューマンらが強烈に刺激された理由のよつなものも理解できたりする。瑕を少なくすることは求めてもよいのかもしれないが、超人パガニーニの神業にぶつかっていった人間・木野の挑戦心は貴重であり、高く評価したい。(11月18日・王子ホール)

# 白馬ミュージックセミナー 木野雅之

Masayuki Kino  
ヴァイオリン演奏においての解釈と  
ヴィルトゥオーゾティーについての  
マスタークラス

2004年 7月27日(火)~8月2日(月) マスタークラス  
7月27日(火)~8月3日(火) マスタークラス+アンサンブルクラス

●会場・宿泊先/マスタークラス 白馬ハイマウントホテル  
長野県北安曇郡白馬村和田野の森 tel: 0261-72-6114

アンサンブルクラス 白馬シェラリゾート アウゼ  
長野県北安曇郡白馬村北城4855-1 tel: 0261-72-2558

●参加費/マスタークラス105,000円 (消費税別)  
マスタークラス+アンサンブルクラス128,000円 (消費税別)  
毎日のレッスン・ピアノ合せ・リサイタルチケット・コンサート出演費  
朝夕食・宿泊費等が含まれます。

●定員/18名 ●受講曲/自由  
●お申込み期限/2004年5月20日 聴講生参加も可(1日3,500円)  
(付き添い及びリサイタルにご来場の方の宿泊も受け付けています)

●ピアノist/名越 小百合

●木野 雅之ヴァイオリン・リサイタル ピアノ:名越 小百合  
2004年7月31日(土) 19:00~ 白馬シェラリゾート アウゼホール

●受講生によるコンサート  
無伴奏コンサート 7月30日(金) 19:00~ 聖白馬教会  
マスタークラス 8月1日(日) 14:00~ 白馬シェラリゾートアウゼホール  
アンサンブルクラス 8月3日(火) 14:00~ 白馬シェラリゾートアウゼホール

主催: NPO法人レジーナ・チェリ芸術振興会  
後援: (財)日本フィルハーモニー交響楽団・日本フィルハーモニー協会  
信濃毎日新聞社・(株)レッスンの友社・(株)ヤマハミュージック東京  
(株)プリマ楽器・白馬村・白馬村教育委員会  
協力: (株)サウンド&ミュージック クリエーション  
白馬美術館・聖白馬教会・白馬ハイマウントホテル・シェラリゾートアウゼ  
白馬青年会議所・白馬飯店・P.メディア・ガーリック・山愛・森と人・ホテル五龍館  
STUDIO 902・インディMOMO・大法院

お申込み・お問合せ: (株)サウンド&ミュージック クリエーション(神奈川オフィス)  
川崎市宮前区野川3020-10 TEL./FAX.044-788-1727 E-mail:s.music.c@violin.ocn.ne.jp



# Hakuba Music Seminar